

仕事と家庭の両立
支援モデル事業所

津福工業株式会社

■業種／空調設備・省エネサポート事業・冷凍冷蔵設備・給排水衛生設備
■常用労働者数／32人(男性26人、女性6人)
■所在地／久留米市梅満町1202

取組み内容

- ①「県子育て応援宣言登録制度」に登録し、従業員の子育てを積極的に支援。
これまで育児休業取得者が3人、うち2人が復職、1人が現在育児休業中
- ②育児と就業の両立のため勤務時間の短縮制度を実施
毎週水曜日にノー残業デー実施

働きやすい職場作りが会社の発展にもつながる

「ある日、優秀な女性従業員が『子どもができたので会社を辞めたい』と申し出てきました。ショックでしたよ。彼女は本当に仕事のできる人でしたから」そう語るのは、社長の津福さん。有能な従業員がいなくなるとは会社の不利益になると考えた津福さんは、彼女に勤務についての希望を聞いて産休を勧めつつ、仕事が続けられる環境を整備しました。

その結果、退職を申し出た女性は産休・育児休業を経て復職し、1年間の時間短縮勤務を経てフルタイム勤務に戻ります。また、彼女は「会社は頑張っている者には、きちんと応えてくれる」と感じて設計の勉強を始めました。今では事務職から技術職に異動して、設計の一線で働いています。

女性が仕事と家庭を両立させるための制度を考えると、津福さんは女性従業員の責任感にも気を配りました。「それまで給与体系は月給制でした。彼女たちはこれに心の負担を感じるようです。『育児があるから早く帰りたいけど、給料は今までと同じでは他の人に悪い』と引け目を感じてしまうのです。そこで、短縮時間勤務の時給制を導入しました。これにより、小さな子どもがいる人は気兼ねなく早く帰ることができ、自分のペースで仕事をするのが可能になりました」。

これからの時代、企業は今まで以上に女性の力を必要としています。同社はそんな女性たちのポテンシャルを十分に認識しています。ある女性従業員はこう語ってくれました。「有能な人が産休などで抜けると、他の人がフォローしなければならないので大変な面はあります。でも、自分に子どもが出来たときも、やっぱり周囲が助けてくれると思うので、他の人の仕事もやる気になりますよ」。

平成21年からは毎週水曜日のノー残業デーを全社的に実施し、所定外労働の削減に取り組んでいます。「みんなで一緒に頑張って、みんなで充実した日々、豊かな日々を送りたい」これが津福さんの願いです。



津福工業株式会社
代表取締役 津福一宏さん。



社内にはいつも元気な女性たちの声が飛び交っています。「やる気のある人には、男女に関わりなく応える」が会社の方針です。